報道関係者各位

2026 年 11 月 18 日
株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカ、米国・DryRun Security 社と販売代理店契約を締結し、AI 推論型アプリケーションセキュリティを提供開始

アプリケーション文脈を AI が理解し、認証不備やビジネスロジックの脆弱性を検出

Web・クラウドサービス開発の生産性向上とセキュリティ確保の両立に貢献

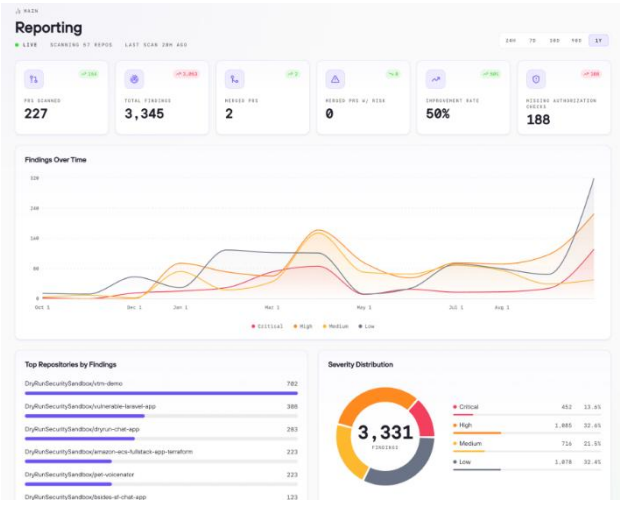
株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：高野 俊也(こうの としや))は、DryRun Security Co.(本社：米国テキサス州、CEO：James Wickett(ジェームズ・ウィケット)、以下「DryRun Security 社(ドライラン セキュリティ)」)と販売代理店契約を締結し、2026 年 11 月 18 日より、AI 推論型アプリケーションセキュリティ「DryRun Security」の国内販売を開始いたします。

本製品は、ソフトウェア開発時にソースコードを解析し、セキュリティ上の脆弱性を検出する製品です。AI がアプリケーションの文脈(利用者ごとの権限や、処理の流れ、コード間の関係など)を理解し、コードの意図や挙動を推論しながら解析することで、従来の解析手法では捉えにくい、「認証・認可の不備」や「ビジネスロジック上の問題」を検出します。東陽テクニカは、本製品の提供を通じて、ソフトウェア開発の早期段階における脆弱性の発見と修正を促進し、不正アクセスや情報漏えいなどのリスク低減を支援してまいります。

本製品は、2026 年 11 月 18 日(水)～20 日(金)に、パシフィコ横浜で開催される「EdgeTech+ 2026」の東陽テクニカブース（ブース番号：DB-19）でもご紹介いたします。



「DryRun Security」イメージ図



「DryRun Security」の解析結果イメージ

【 背景／概要 】

AI を活用したソフトウェア開発とセキュリティ課題

生成 AI や AI コーディングツールの普及により、ソフトウェア開発の生産性が向上する一方、短時間で生成・修正されるコードの量や範囲が拡大し、システム全体の複雑性も高まっています。開発現場では、人手によるセキュ

株式会社 東陽テクニカ www.toyo.co.jp
〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6 本社（代表）TEL 03-3279-0771
大阪支店 TEL 06-6399-9771 / 名古屋支店 TEL 052-253-6271 / 宇都宮営業所 TEL 028-678-9117

リティレビューの負担が増大するとともに、コードの記述だけでは判断が難しいセキュリティ上の脆弱性への対応が課題となっています。

セキュリティ上の不備を見逃した場合、不正アクセスや情報漏えいなどの被害につながるおそれがあります。IPA(独立行政法人情報処理推進機構)は 2026 年 10 月 9 日、国内の幅広い事業者で不正アクセス被害による情報漏えい事案の公表が相次いでいることを受け、外部公開アプリケーションの認証や権限の見直しなどを呼びかけています※1。また、同月 16 日に公開した「AI セキュリティ短信 2026 年 10 月号」では、AI エージェントが情報漏えいの経路となるリスクについても取り上げています※2。

さらに、NICT（国立研究開発法人情報通信研究機構）は 2026 年 10 月 13 日、公開 Android アプリの解析で得られた情報を悪用し、接続先のサーバーを攻撃する「A2B 攻撃」について注意喚起を行いました。AI の活用によってアプリの解析や脆弱性の発見が効率化され、こうした攻撃がより多くのシステムに広がる可能性にも注意を促しています※3。

「DryRun Security」は、コードの構造や処理の流れ、変更内容、アプリケーションの役割・構成を関連付けて分析する「Contextual Security Analysis(CSA：文脈を踏まえたセキュリティ解析)」を採用しています。AI がコードの意図や挙動、悪用可能性を推論することで、従来の脆弱性パターンに基づく解析では見つけにくい認可設定の不備や業務処理上の脆弱性を検出します。例えば、ログイン済みの利用者が注文番号を書き換えるだけで他人の注文情報を取得できてしまうケースや、決済・承認の手順を迂回できてしまうケースなど、アプリケーション全体の処理や利用者の権限を考慮しなければ判断が難しい脆弱性にも対応します。

東陽テクニカは、これまでソフトウェア開発支援分野において、バージョン管理、静的解析、アプリケーションセキュリティなど、ソフトウェア開発の品質・生産性向上とセキュリティ確保を支援する製品・ソリューションを提供してまいりました。今回「DryRun Security」を新たにラインアップに加えることで、ますます高度化・複雑化するサイバーセキュリティの脅威に対応し、金融・EC・SaaS、製造業をはじめとする幅広い分野のお客様の開発において、生産性向上とセキュリティ確保の両立に貢献してまいります。

※1 IPA「不正アクセスによる漏えい等の事案を踏まえ、速やかに実施すべき対策等について」 2026 年 10 月 9 日
https://www.ipa.go.jp/security/security-alert/2026/alert20261009.html
※2 IPA「AI セキュリティ短信 2026 年 10 月号」 2026 年 10 月 16 日
https://www.ipa.go.jp/digital/ai/security/rcu1hd0000007gji-att/2026-4_1016.pdf
※3：NICT「【注意喚起】相次ぐ情報漏えい、その原因の一つは『アプリ解析からのサーバ攻撃』」2026 年 10 月 13 日
https://www.nict.go.jp/press/2026/10/13-1.html

【 主な特長 】

・アプリケーションの文脈を踏まえ、自社固有のルールにも対応：コードの構造や処理の流れなどを踏まえてリスクを検出します。さらに、自社固有のセキュリティ要件を自然言語で定義し、そのルールに沿った解析も可能です。

・コード変更を継続的に解析：GitHub の PR や GitLab のマージリクエストごとにコード変更を自動で解析し、継続的にリスクを確認できます。

・リポジトリ全体を解析：DeepScan によりリポジトリ全体を解析し、既存コードに潜むリスクや広範囲にまたがる問題を検出します。

・AI コーディングツールと連携して修正まで支援：検出したリスクや修正に必要な情報を AI コーディングツールに提供し、修正後のコードを再解析できます。

株式会社 東陽テクニカ www.toyo.co.jp
〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6 本社（代表）TEL 03-3279-0771
大阪支店 TEL 06-6399-9771 / 名古屋支店 TEL 052-253-6271 / 宇都宮営業所 TEL 028-678-9117

・AI エージェント向けの指示ファイルも解析：SKILL.md や AGENTS.md なども解析対象とし、機密情報の漏えいや不正な操作につながる指示などのリスクを検出します。

【 製品データ 】

・製品名：AI 推論型アプリケーションセキュリティ「DryRun Security」
・メーカー：DryRun Security Co.(米国)
・提供開始時期：2026 年 11 月 18 日
・販売価格：要お見積り
・製品ページ：https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/DryrunSecurity

【 出展情報 】

■展示会名：EdgeTech+ 2026
■会期：2026 年 11 月 18 日(水)～20 日(金)
■時間：10:00～17:00 ※19 日(木)のみ 18:00 まで
■場所：パシフィコ横浜 展示ホール／アネックスホール
■ブース番号：DB-19
■展示会公式サイト：https://www.jasa.or.jp/expo/
■出展お知らせページ：https://www.toyo.co.jp/ss/seminar/detail/edgetech2026

＜DryRun Security 社について＞

DryRun Security Co.は、2023 年設立、米国テキサス州オースティンに拠点を置くアプリケーションセキュリティ企業です。コードやアプリケーションの文脈を踏まえてセキュリティリスクを分析する「Contextual Security Analysis(CSA)」を中核技術とし、コード解析や認可検証などに関する複数の米国特許を取得しています。同社のセキュリティプラットフォームは企業のソフトウェア開発環境で利用されており、顧客全体で月間 55 万件の Pull Request を解析しています。

DryRun Security Co. Web サイト：https://www.dryrun.security/

＜株式会社東陽テクニカについて＞

東陽テクニカは、最先端の"はかる"技術のリーディングカンパニーとして、技術革新を推進しています。その事業分野は、脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信、EMC、ソフトウェア開発、防衛、情報セキュリティ、ライフサイエンス、量子ソリューションなど多岐にわたり、クリーンエネルギーや自動運転の開発などトレンド分野への最新計測ソリューションの提供や、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力しています。新規事業投資や M&A による成長戦略のもと国内外事業を拡大し、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：https://www.toyo.co.jp/

株式会社 東陽テクニカ www.toyo.co.jp
〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6 本社（代表）TEL 03-3279-0771
大阪支店 TEL 06-6399-9771 / 名古屋支店 TEL 052-253-6271 / 宇都宮営業所 TEL 028-678-9117

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

ニュースリリースに関するお問い合わせ：
株式会社東陽テクニカ 経営企画部 広報・IR グループ
TEL：03-3279-0771(代表) E-mail：marketing_pr@toyo.co.jp
ソリューションに関するお問い合わせ：
E-mail：ss_sales@toyo.co.jp
ソリューションページ：https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/DryrunSecurity

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。

株式会社 東陽テクニカ www.toyo.co.jp
〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6 本社（代表）TEL 03-3279-0771
大阪支店 TEL 06-6399-9771 / 名古屋支店 TEL 052-253-6271 / 宇都宮営業所 TEL 028-678-9117